未来を育む なとが輝く 信濃おおまち

大町市第5次総合計画 後期基本計画

ダイジェスト版



「未来を育む ひとが輝く 信濃おおまち」を目指して

今、世界は、新型コロナという未知のウイルスによってもたらされた 感染症の影響により、大きく深い閉塞感の中にあります。コロナ禍で、 私たちは失われた時間を振り返り、あらためて「平穏な日常の大切さ」 を思い起こしています。何としてもこの厳しい状況を克服し、コロナ後 の「新しい日常」を取り戻し、更にバージョンアップした持続可能な地 域社会を築いていくことが強く求められています。



さらに、人口減少・少子高齢化の進展のほか、DX(デジタル変革)への転換や SDGs への取組みなど、これまで想定しえなかった新たな課題に対しても、立ち向かわなければなりません。このたび策定しました令和4年度から5年間の「第5次総合計画後期基本計画」は、「郷土や文化に誇りを持ち 心から地域を愛するひとを育てる」を基本理念として、市が抱える様々な課題に挑戦するため、5つの重点施策を位置づけました。

こうした時代の変換点にあって、大町市は、感染の拡大局面において、市民の理解と医療関係者の献身的な取組みのもとで、医療崩壊を食い止め、市民と行政の「協働」の力を示してきました。大町市出身の奥原希望選手は、東京オリンピックにおいて、最後まであきらめない強い「意志と覚悟」を、また、コロナ禍で、開催さえ困難と思われた国際芸術祭においては、多くの関係者の熱い思いを支えに、知恵と工夫で克服できる「可能性」を見出しました。こうした「ひと」の存在は、まさに市の強みであり、未来に向けたまちづくりにおいても、それを担う「ひと」は極めて重要であるとの思いに立ち、市の将来像に掲げる「未来を育む」ひとが輝く「信濃おおまち」の実現を目指していきます。

先行きが見通せない困難な時代にあってこそ、大町市は、市民の皆様とともに、総合計画基本構想に掲げる目標の実現をめざし、後期5カ年計画に基づき、市民一人ひとりが活躍できる、ひとが輝く確かな暮らしに向けて、ひるまず、恐れず、たゆまずに歩みを進めてまいります。

計画の策定に当たり、ご協力いただきました市民の皆様はじめ、大町市総合計画審議会、大町市議会の皆様方に深くお礼申し上げますとともに、ご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

令和4年3月

大町市長 牛越 徹

◇ 計画策定の趣旨

市では、平成29年度から、令和8年度を計画期間とする第5次総合計画を策定し、基本構想に定めた将来像「未来を育む ひとが輝く 信濃おおまち」の実現を目指し、まちづくりを進めてきました。

この間、人口減少・少子高齢化の進展に加え、新型コロナウイルスの感染拡大による景気・雇用情勢の悪化など、市を取り巻く社会情勢の急激な変化により、今まで以上に持続可能な自治体経営と地域特性を活かしたまちづくりが求められています。

こうした状況のなか、令和3年度をもって前期基本計画の期間が終了することから、引き続き基本構想の実現に向け、前期基本計画の評価結果を的確に検証するとともに、令和2年に策定した「第2期総合戦略」や「SDGs未来都市計画」、また新たな過疎計画である「過疎地域持続的発展計画」との整合を図りながら、「大町市第5次総合計画後期基本計画」を策定します。

◇大町市第5次総合計画の構成と期間

【基本理念】

郷土や文化に誇りを持ち 心から地域を愛するひとを育てる

【将来像】

未来を育む ひとが輝く 信濃おおまち

基本構想

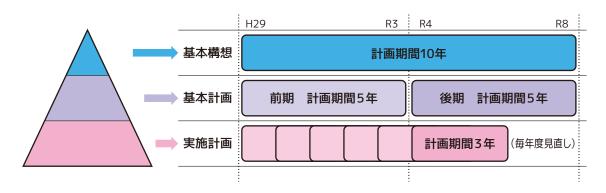
基本理念と市のまちづくりのテーマ(政策の柱)を定め、10年後のあるべき姿である「市の将来像」を示すもので計画期間は10年間です。

基本計画

基本構想を実現するために、市が取り組む具体的な施策体系や事業の内容等を示すもので、前期基本計画と後期基本計画に分けて策定し、計画期間はそれぞれ5年間です。

実施計画

基本計画で定められた施策を実現するため、重要度や緊急度、優先度や社会情勢などを総合的に判断し、毎年度ローリングすることにより見直しを行い予算編成などに的確に反映します。計画期間は3年間です。

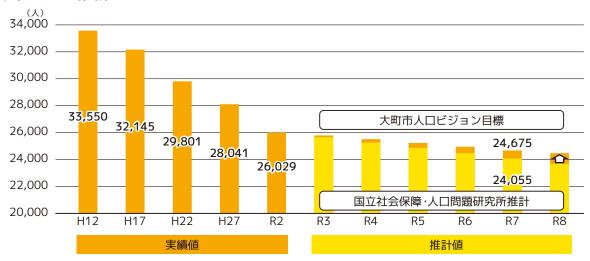


◇人口の推移と将来人口について

国立社会保障・人口問題研究所によると、市の将来人口は、令和2年(2020年)に26,042人、後期基本計画の最終年にあたる5年後の令和8年(2026年)には、23,600人程度になると推計されています。 市では、大町市人口ビジョンとまち・ひと・しごと創生総合戦略(以下「総合戦略」)の策定により、地域経済の活性化による働く場の確保、地域の魅力を活かした新しいひとの流れの増加や、移住定

住の促進、結婚・出産・子育ての希望をかなえ、安心して暮らせる地域づくりの視点から積極的に施策を進めることにより、令和8年の人口を国の推計と比較して約400人増の24,000人以上を維持するための取り組みを進めます。

将来人口の推計



◇ まちづくりのテーマ (政策の柱)

 **
 未来を育む ひとが輝く 信濃おおまち

1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち

- ①心豊かにたくましく生きる子どもの育成
- ②生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供
- ③芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実

2 活力あふれる産業と地域の魅力を活かした にぎわいのあるまち

- ①商工業の振興による地域経済の活性化
- ②地域の特性を活かした農林水産業の振興
- ③観光を主体に国内外からひとを呼び込む交流の促進
- ④ 移住・定住促進策等の充実強化

3 だれもが健康で安心して暮らせるまち

- ①健康で長生きできる社会の実現
- ②だれもがいきいきと暮らせる環境づくりの推進
- ③結婚・出産・子育て支援の充実
- ④ 市民生活の安全の確保

4 豊かな自然を守り快適に生活できるまち

- ①自然と共生した環境の創造
- ②暮らしやすい都市基盤の整備
- ③ 快適な生活環境の形成

5 市民の参画と協働でつくるまち

- ①市民の参画・協働と市民の視点に立った市政の推進
- ② 多様性に満ちた共生社会の実現
- ③市民との情報共有と持続可能なサービス提供体制の構築

◇行財政運営方針

人材や財源など限られた経営資源を有効に活用し、最大の成果 を上げることにこだわり行政サービスを提供します

- 連携・協働の推進
- 持続可能な財政運営
- 事業、施設のマネジメント
- 組織運営体制の強化

◇ 後期基本計画における 5 つの重点施策について

地方自治体を取り巻く環境は、人口減少・少子高齢化の進展に伴い税収が減少する状況に加え、新型コロナウイルス感染症の流行というこれまでにない社会情勢の大きな変化や、公共施設等の長寿命化の推進、社会保障費等の増加などにより、市の財政状況はいっそう厳しさを増していきます。

前期基本計画の実施状況を振り返り、課題等を整理するとともに、基本構想や前期基本計画 策定後における時代の潮流を踏まえ、人口減少社会への対応をはじめとした市が抱える様々な課 題に横断的に挑戦し、未来を育むひとが輝くまちづくりを共通の認識として、次に掲げる施策を後 期基本計画の重点施策と位置付け、分野間での連携を図りながら、経済・社会・環境の三側面から 持続可能なまちづくりに向けた取り組みを進めます。

重点施策 1 安定した雇用の場の確保と新規起業を支援する

既存産業の競争力の強化、育成を図るとともに新規起業、新規就農など、事業者を行政や金融機関等の連携により積極的に支援します。また、将来を担う地元高校生と、市・企業等が連携し、地域課題の解決に向けた探求的な学びの実現を目指します。

重点施策2 大町らしさを活かして新しい人の流れをつくる

新しいひとの流れが生まれる好循環を喚起する仕組みを構築するとともに、近隣町村等との連携により、ひとの流れを拡大・再構築します。また、都市住民を巻き込んだ「関係人口」の創出・拡大により、地域との関りが深い「大町市のファン」づくりに向けた取り組みを進めます。

重点施策3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

若い世代が安心して働ける質の高い雇用を生み出し、結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援や仕事と生活の調和 (ワークライフバランス) を確保します。また、三世代同居や近居を促進することにより、子育てしやすい環境を実現します。

重点施策4 安心安全な暮らしと時代に合った地域をつくる

地域の防災力の向上や持続可能な公共交通の確立、立地適正化計画によるコンパクトなまちづくりを推進し、安心して暮らせる地域をつくります。また、Society5.0の実現に向けた革新的な技術を活用し、地域の課題解決を図る「スマートシティ」の取組みを進めます。

重点施策5 豊かな自然を守り、持続可能な地域社会を目指す

豊かな自然を100年先の未来へと引き継ぐために地域が一体となって自然との調和と環境の保全により、より暮らしやすい環境の実現を目指します。また、地球温暖化は、自然環境に深刻な影響を及ぼす全世界共通の課題となっています。温室効果ガス排出量を削減し、地球環境にやさしい持続可能なまちづくりを進めます。

◇後期基本計画

1 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち

子どもたちが、自ら住む大町市への誇りや郷土への愛着を持ち、個性や能力を伸ばせるよう、学校や地域の教育環境の充実を図ることにより、将来の大町市を担う若者の育成に取り組みます。また、市民の生涯学習や、芸術・文化・スポーツなどの活動機会を幅広く提供することにより、地域のつくり手、担い手を育てます。

取組みの内容

★印及び下線…重点施策

◎…ひとづくりに関する施策を表示

◆ 心豊かにたくましく生きる子どもの育成 ◆

【基礎的な学力・体力の向上】

- ◎基礎学力の定着と向上
- ◎中高連携教育の推進
- ◎運動部活動の実践

- ◎小中一貫、小中連携教育の推進
- ◎体力の向上
- ◎学校給食における食育・地産地消の推進

【時代の変化に対応した教育の推進】

- ◎協働の学びの推進
- ◎正しいメディア教育の推進
- ◎外国語学習の充実
- ◎学校再編計画の推進

【多様な教育的ニーズのある子どもたちへの支援】

- ◎特別支援教育態勢の充実
- ◎特別支援指導員の配置
- ◎心身障がい児のための教育相談の充実
- ◎外国籍児童生徒に対する教育の充実

【豊かな心と健やかな体を育む教育の推進】

◎不登校等の悩みを抱える子どもへの支援

◎ 道徳教育・人権教育の推進

【★地域とともにある学校づくり】

- ◎コミュニティ・スクールの推進
- ◎社会人・職業人として自立に必要な能力、意欲の形成を図るキャリア教育の推進
- ◎郷土を学ぶ体験学習、郷土愛・郷土に誇りを持つ気運の醸成
- ◎学校ボランティアの育成

【教育環境の整備】

- ◎幼児教育から義務教育まで一貫した教育の検討
- ◎施設・設備・機材の整備

◎就学支援の充実

◎奨学金の推進

◎通学の安全確保

◎学校運営の支援

【★地域で育む教育の推進】

- ◎家庭教育支援の推進
- ◎学校・家庭・地域の連携強化による健全育成、学習支援等
- ◎高度情報化社会への対応と情報教育の推進
- ◎多様な体験活動の充実
- ◎郷土愛や、自分、周囲の人を大切に思う心を育む活動の推進
- ◎地域を担う人材の育成
- ◎子ども会活動の活性化と少年リーダー等の育成

【特色ある交流事業の推進】

◎姉妹都市交流

- ◎山村留学を通じた都市交流の促進
- ◎メンドシーノ姉妹都市交流事業

◆ SDGsの目標















◆生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供◆

【生涯各期における学習活動の充実】

◎生涯各期における学習機会の充実

【社会教育の充実と活性化】

- ◎社会教育の推進
- ◎図書館の充実と読書活動等の推進
- ○公民館事業の充実と活性化
- ◎他機関との連携、協力の推進

【★多様な分野の学習活動の促進】

- ◎社会情勢の変化に対応した学習の促進
- ◎アルプス囲碁村づくりの推進
- ◎山岳文化都市としての情報発信や学習活動の充実と促進

【自由に学び成果を活かす学習環境の整備と連携態勢の構築】

- ◎情報提供・相談事業の充実
- ○社会教育推進態勢の強化と施設機能の充実

◎学習成果の評価と活用

◎生涯学習ボランティアの活動促進

◆SDGsの目標

















◆ 芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実 ◆

【芸術文化の振興】

◎芸術文化の振興と芸術鑑賞、体験機会の充実

美術作品等の整理と一般公開の推進

- ◎市民の自主的で主体的な芸術文化活動の振興
- ◎芸術文化に関するサークル活動や自治会活動等の奨励と支援

【文化財の保護継承と活用】

◎文化財保護の推進と学習機会の充実◎地域の伝統文化や伝統芸能の保存と継承

【★地域の芸術文化の創造】

信濃おおまちアーティスト・イン・レジデンス事業の推進

【山岳文化の振興と活用】

◎調査・研究・教育普及活動の充実

収蔵資料の収集と活用

【★スポーツの振興】

- ◎生涯スポーツの推進
- ◎スポーツを通じたコミュニティづくり
- ◎競技スポーツの推進と指導者の育成 スポーツ施設の整備と有効活用

◆SDGsの目標















◆数値目標◆(抜粋)

目標項目		基準値	目標値	種別	担当課
口、惊、块、口	年度	数值	(令和8年度)	但力」	1230年
自分には良いところがあると感じている児	R3	① 75.3%	① 77%	単年	学校教育課
童・生徒の割合(①小学校6年生、②中学校3年生)	173	273.2%	2 76%	半十	子似纵月珠

山岳文化都市づくりを聞いたことがある市 民の割合	R2	40.5%	60%	市民意識 調査	山岳博物館
週に1回以上スポーツをする人の割合	H30	48.6%	65%	単年	スポーツ課

2 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち

自立的で持続的な経済循環を図るため、新産業の誘致や育成、創業の支援や後継者の育成などによ り、産業振興と働く場の確保に取り組みます。特に、観光業や商工業、農林水産業との間の連携による 新たな産業分野の創出のために積極的な支援を行い、新しい商品や技術、サービスを提供する販路、 市場の拡大を図ります。また、様々な地域資源や文化資源を活用して新たな観光交流事業を推進する とともに、観光地としての魅力や地域ブランド力の向上に取り組み、国内外からの新たなひとの交流に よる中心市街地の活性化などにより、まちのにぎわいを創出します。

取組みの内容 ★印及び下線…重点施策 ◎…ひとづくりに関する施策を表示

◆ 商工業の振興による地域経済の活性化◆

【★中小企業等の支援と創業支援による地域経済の活性化】

- ◎中小企業の育成と商工団体等の支援
- ◎企業説明会・就職面接会の開催
- ◎働く場や機会の充実

- ◎創業希望者・創業者の育成
- ◎既存企業の育成

【★中心市街地の活性化】

◎活性化に向けた支援 市営住宅団地等の新設 中心市街地における施設整備の推進

【企業誘致の推進】

地域の特性を活かした戦略的な企業誘致の展開

【★既存企業の育成と振興】

既存企業の育成と振興

農業・商業・観光業の連携による流通の促進

◆SDGsの目標









地域の特性を活かした農林水産業の振興 ◆

【★生産と販売の促進】

- ◎農業後継者の確保
- ◎農業法人化の推進 果樹・野菜・花卉の生産振興
- ◎地産地消や高付加価値型農業の推進 畜産の振興
- ◎持続可能な農業の推進 稲作の生産振興 転作作物の生産振興
- 鳥獣被害対策の推進 在来魚種の保護と特産魚等水産業の振興

【農地施策の推進】

「人・農地プラン」の作成 農地・農業用施設の維持・機能保全等 農地集約化の促進

農地・施設の機能保全及び基盤整備事業の促進

【★豊かで多様な森林の育成と地域林業の活性化】

◎林業の担い手の確保・育成 森林資源の保全 林産物の生産促進

◎みどり教育の推進 経営基盤の整備

健全な森林の育成・整備 地域材の利用拡大

◆ SDGsの目標













◆ 観光を主体に国内外からひとを呼び込む交流の促進 ◆

【★魅力ある観光地づくりの推進】

観光地としての基盤づくり 外国人観光客の回復期に向けた取組み

通年滞在型観光の推進 山岳観光の魅力向上

【★地域の芸術文化の創造】

信濃おおまちアーティスト・イン・レジデンス事業の推進(再掲)

◆SDGsの目標

















◆移住・定住促進策等の充実強化◆

【★定住促進ビジョンの推進】

◎移住の促進

定住の奨励と拡充

空家等の有効活用

【★過疎重点地域における移住・定住促進】

◎過疎重点地域における移住・定住促進策の推進

【★都市との交流の促進】

都市と農村の交流

◎地区住民と市民農園利用者との交流

【★信濃大町ブランドの戦略的な展開】

- ◎信濃大町ブランド戦略に基づくブランドカの向上
- ◎地域資源や特産品のブランド化

おおまぴょんの活用

◆SDGsの目標











◆数値目標◆(抜粋)

目標項目		基準値	目標値	 種別	担当課	
		数值	(令和8年度)	(里力) 		
企業誘致件数	R3	1社	2 社	5 年累計	産業立地戦略室	
担い手への農地集積率	R2	50.9%	60%	単年	農林水産課	
観光客入込総数	R1	277 万人	297 万人	単年	観光課	
移住者数	R2	93人	500人	5 年累計	まちづくり交流課	

3 だれもが健康で安心して暮らせるまち

市民の健康を守る保健予防活動や地域医療体制の充実、子育て支援や高齢者支援、障がい者福 祉、防災対策などの各種事業の充実に取り組み、健康で安全なまちづくりを進めます。

取組みの内容 ★印及び下線…重点施策 ◎…ひとづくりに関する施策を表示

◆ 健康で長生きできる社会の実現 ◆

【持続可能な地域医療体制確保に向けた病院経営の強化】

抜本的な経営改善

経営形態の見直しとネットワーク化

【★地域に密着した医療の提供】

地域ニーズに応じた質の高い医療提供 保健福祉事業の充実

◎職員の能力向上

◎臨床研修の充実

◎認定看護師等の充実 新たな感染症に対応した医療の提供

【★安心して受けられる医療の確保】

かかりつけ医制度の普及 医療費負担の軽減

持続可能な医療保険制度の確保 過疎重点地域の医療確保

【健康づくりの推進】

生活習慣病発症・重症化予防の推進

- ◎こころの健康づくりの推進
- ◎自ら取り組む健康づくり

- ◎母子保健の充実
- ◎健康づくりの推進

【★高齢者が住み慣れた場所で暮らし続けられる支援の構築】

生活支援態勢の整備

◎認知症施策の推進 医療・介護の連携

介護予防の推進 高齢者の権利擁護

◆ SDGsの目標











◆ だれもがいきいきと暮らせる環境づくりの推進 ◆

【地域福祉の推進】

地域福祉意識の高揚

◎民間社会福祉団体の充実・強化

◎ボランティア活動の推進

- ◎民生児童委員の活動の充実
- ◎多様な福祉ニーズに対応できる福祉人材の確保

地域福祉活動拠点の充実

- ◎小地域福祉ネットワーク活動の推進
- ◎有償ボランティア制度の推進 災害時支援態勢の確立
- ◎民生児童委員研修の充実

【障がい者福祉の推進】

障がい者への理解の促進と支援制度の普及 住み慣れた地域で暮らすための支援の推進 ◎ボランティアの育成

【生活困窮者への支援の推進】

生活保護制度の適正運用と生活困窮者の相談支援 ◎相談支援員の確保

【生きがい対策の充実】

シニアクラブの活動支援 より豊かな高齢社会の形成

- ◎就業機会の充実
- ◎学習機会の充実と社会参加の促進

◆ SDGsの目標













◆ 結婚・出産・子育て支援の充実◆

【★結婚支援の充実】

◎結婚支援の充実

【★妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援】

◎妊娠・出産・子育て支援

【★子育て支援の充実】

児童センター・子育て支援センターの充実 ◎子育てのための環境整備

多様な相談事業の実施

ひとり親家庭の自立支援

心身障がい児教育相談の充実(再掲)

保育機能の充実

保育施設の適正な管理

- ◎子育て学習の機会の充実
- ◎体験活動の充実

子育て家庭への経済的支援

発達障がい児への継続的支援

子どもへの虐待の防止 保育園と地域の連携

幼稚園・認定こども園との連携・支援

◎地域の子育て支援環境の整備

◆ SDGsの目標















◆市民生活の安全の確保◆

【★災害に対する市民生活の安全の確保】

防災・減災態勢の充実及び強化

◎地域防災力の向上

雪害対策の推進

熊等の野生動物に対する安全確保

空家等の発生抑制

情報収集・伝達手段の充実及び強化

消防団の充実及び強化

地域の防犯態勢の強化

危機管理態勢の充実

新たな感染症への対応

【★災害に強いまちづくりの推進】

総合的な施策による地域の強靭化

中心市街地の雨水排水対策

◎建築関係団体等との連携

治山・治水対策の推進 建物等の耐震化の推進

【交通安全対策の推進】

◎交通安全意識の高揚

◎交通指導員等人材育成

市民協働による交通安全対策 交通安全施設の整備

【消費生活相談の充実】

消費者の保護

◎消費者教育・啓発及び相談態勢の強化

◆ SDGsの目標













◆数値目標◆(抜粋)

目標項目	基	基準値	日標値	種別	担当課	
日原現日	年度	数值	(令和8年度)	(里力)		
経常損益	R2	527,443千円	327,000千円	単年	大町病院	
小地域福祉ネットワーク数	R3	46 団体	58 団体	単年	福祉課	
30 代未婚率	R2	41.3%	38%	国勢調査	まちづくり交流課	
出生数	H29~ R3平均	138人	150人	5 年平均	子育て支援課	

4 豊かな自然を守り快適に生活できるまち

市の貴重な財産である良質な水と良好な大気環境、豊かで多彩な自然とまちの魅力が共生し、暮ら しやすく、快適で環境にやさしいまちづくりを進めます。

取組みの内容 ★印及び下線…重点施策

◎…ひとづくりに関する施策を表示

◆ 自然と共生した環境の創造 ◆

【★自然環境の保全と共生】

水資源の保全と活用

地球温暖化防止策の推進

外来動植物対策の実施

再生可能エネルギー活用の推進

水資源の多面的な活用

- ◎山岳文化都市としての情報発信や学習活動の充実と促進(再掲)
- ◎動植物など自然環境の調査

【上水道・公営簡易水道の整備など水資源の保全と活用】

水道の水質保全

水道施設の計画的な改築・更新

災害時等の対策の充実

事業経営の健全化

公営簡易水道の安定した給水体制の整備

【安定した温泉の供給】

源泉の保全管理

温泉供給の安定化

温泉事業の健全化

【★自然や環境に関する学習の促進】

◎環境教育・環境学習の推進

◎豊かな自然を生かした学習活動の充実

◆ SDGsの目標















◆暮らしやすい都市基盤の整備◆

【★移動しやすい公共交通網の整備】

市民バスの運行地域内交通の充実強化

市民バス、JR、特急バスなどの利便性向上

【★魅力あるまちの形成に向けた都市計画の推進】

都市計画マスタープランに基づくまちづくりの推進 立地適正化計画に即した集約都市形成の推進

◎市民ニーズを活かした協働のまちづくり 緑の基本計画に基づく緑化の推進

【調和と秩序ある都市計画区域・用途地域の設定】

都市計画区域等の設定・見直し

計画的な土地利用

【★中心市街地の活性化】

中心市街地における施設整備の推進(再掲)

市営住宅団地等の新設(再掲)

【★都市構造を支える幹線道路網の構築・整備促進】

<u>地域高規格道路の整備促進</u> 県道の整備促進

◎市民協働による道路整備の促進

国道の整備促進 都市計画道路(街路)の整備

【★潤いのある公園・緑地の整備推進】

<u>身近な公園の整備</u> 安全かつ適正な公園の維持管理 多様な用途に対応した公園の整備 ◎市民協働による公園の維持・活用

【安全で快適な道路整備・維持管理】

生活道路の整備や安全の確保 除雪・排雪の充実 市道の適切な維持管理 ◎ 市道沿線の環境美化

◆ SDGsの目標















◆ 快適な生活環境の形成 ◆

【★廃棄物の適正な処理とリサイクルの推進】

廃棄物の適正処理の推進

◎協働による資源循環型社会のまちづくり 廃棄物処理施設の適正管理 ごみの減量化と資源化の推進 不法投棄対策の推進

◎環境に配慮し行動する市民の気運醸成

【公害対策の推進】

調査監視活動の推進臭気発生施設の監視・指導

発生源への指導・監督

【★豊かな自然・文化と調和した景観の形成】

<u>景観形成の誘導・保全</u> 田園・農村景観等の保全 ◎良好な景観形成に向けた住民参加の促進

【住宅環境の向上】

住宅等の改修支援

住宅情報等の提供

公営住宅の整備

【下水道の整備と水洗化の促進】

健全な下水道事業の推進

施設の適切な更新

【★高度情報化社会への対応・DX 推進】

電子自治体の推進 情報通信基盤の整備 ◎ITリテラシー向上のための事業 情報セキュリティ対策の推進

◆ SDGsの目標

















◆数値目標◆(抜粋)

目標項目	基準値		目標値	種別	担当課
	年度	数值	(令和8年度)	但上力!	担当床
不法投棄ごみの回収量	R2	17,000kg	15,300kg	単年	生活環境課
市民バス利用者	R2	64,338人	70,000人	単年	情報交通課
市民1人1日当たりの可燃ごみ排出量	R2	709g	650g	単年	生活環境課

5 市民の参画と協働でつくるまち

市民が暮らす喜びを感じ、誇りを持てるよう、市民一人ひとりが主役となって市政に参画し、協働する 市民参加のまちづくりを進めることにより、多様化する市民ニーズや将来のまちづくりに的確に対応し ます。

取組みの内容 ★印及び下線…重点施策

◎…ひとづくりに関する施策を表示

◆ 市民の参画・協働と市民の視点に立った市政の推進◆

【★市民参画と協働によるまちづくりの推進】

◎市民がまちづくりに参加しやすい態勢づくり 情報の収集と発信 NPO等の活動支援 地域コミュニティ活動の支援

まちづくり活動団体の支援・育成・連携強化 自治会等地域コミュニティ活動の支援

◎市民ボランティアの育成 市政への市民参画の推進

【★過疎重点地域での地域づくりの推進】

過疎対策事業の推進

地域づくり委員会の運営

◎過疎重点地域における市民によるまちづくり活動の促進

◆ SDGsの目標







◆ 多様性に満ちた共生社会の実現◆

【★人権教育・啓発の推進】

- ◎人権政策の推進
- ◎男女共同参画の意識の啓発
- ◎様々な場を通じた人権教育の推進

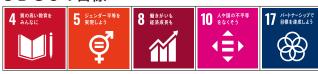
人権擁護の推進

- ◎意識啓発の推進・強化
- ◎人権を尊重する社会づくりの推進

【ユニバーサルデザインの推進】

ユニバーサルデザインの推進

◆ SDGsの目標



◆市民との情報共有と持続可能なサービス提供体制の構築◆

【行政情報の積極的な提供】

情報公開制度の充実

行政情報提供の充実

【★情報通信技術を活用した市民サービスの向上】

情報化の推進による市民参加の促進 ケーブルテレビ加入促進 ◎自主放送番組の充実

【都市間交流と国際交流の促進】

◎姉妹都市・友好都市との相互交流

【★広域連携の推進】

北アルプス広域連合との連携による共同処理

県・近隣市町村との連携事業の推進

【健全で持続可能な財政運営】

自主財源の確保

◎納税意識の向上

効率的な行財政運営による健全財政の堅持 行政改革の推進

◎詳細な財政状況の公表と説明

【公共施設等の適正管理】

公共施設等の適正な総合管理

◎市民との協働による、適正な公共施設の管理・運営

【職員の資質向上と育成】

◎市職員の資質向上

◎圏域の将来像を見据えたマネジメント能力の強化

◆ SDGsの目標













◆数値目標◆(抜粋)

目標項目		基準値	目標値	 種別	担当課
		数值	(令和8年度)	但上力」	
市民活動サポートセンター登録団体数	R3	132 団体	145 団体	単年	まちづくり 交流課
自治会加入率	R2	72.5%	80%	単年	まちづくり 交流課
各種審議会等の女性委員を加率	R3	26.1%	40%	単年	まちづくり 交流課
自分のキャリアデザインが描けている職員 (課長補佐級以下)の割合	R2	31.4%	50%	単年	庶務課

SUSTAINABLE GEALS DEVELOPMENT GEALS

長野県大町市はSDGs未来都市です

◆SDGsって何?

SDGsとは、2015年に国連に加盟する139ヵ国が合意して定められた世界共通の持続可能な開発目標です。

世界中が持続可能な開発の実現に向けて、2030年までに「みんなで助けあい、未来に良い環境や社会を引き継いでいく」ため、17の目標の達成を目指しています。

Sustainable Development Goalsの頭文字をとって「SDGs」と表記されます。



































◆私たちの身近なSDGsの取組み

世界の目標というと遠い世界のことのように感じてしまいますが、まずは、それぞれが関心を持ち、理解することが大切です。目標が17もありますので、どれか興味を持ったものがあったら、是非自分で調べて学校や家庭で話題にしてみてください。みんなで考え、そして身近なことから行動してみましょう。



5 ジェンダー平等を実現しよう

- 家事を平等に分担する
- 役員決めなどの時、男女のバランスを考える



6 安全な水とトイレを世界中に

- 水道の蛇口をこまめに止める
- 風呂水を散水や洗濯に再利用する



8 働きがいも経済成長も

- 残業をしない、休暇をきちんとる
- 地元の商店で地元のものを買う



11 住み続けられるまちづくりを

- 家具の転倒防止やの防災グッズを準備する
- 地域の清掃・防災活動などに参加する



12 つくる責任 つかう責任

- マイバッグ、マイボトルを使う
- 食べ残しをしない、余った食材を利用する



13 気候変動に具体的な対策を

- 照明をこまめに消すなど、電気を節約する
- CO2の排出の少ない交通手段を使う

編集発行 大町市総務部企画財政課

〒398-8601 長野県大町市大町 3887 TEL: 0261-22-0420(代表) FAX: 0261-23-4304 E-mail: kikaku@city.omachi.nagano.jp URL: https://www.city.omachi.nagano.jp/

[R4.3]